

～12gである。

繁茂期における適正な生育許容個体数は $45/12 \approx 4$ 個体/ m^2 と算定される。周年を通しては2-3個体/ m^2 とみることができる。

6 ウニ漁場改良の方向

モ場は餌料環境としてはすぐれているが、干潟であるため、ウニの良好な漁場とはなり得ない。また礁湖は餌料環境が劣るため、同様にウニの好漁場となり得なかった。

したがって、本漁場においては干潟は何らかの方法で生息環境としての安定化をはかることが必要である。さらに礁湖においてはモ場を造成して餌料環境の改善をはかることが必要である。